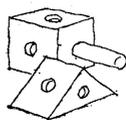


幼稚園の遊び



はじめに

幼児は、幼稚園で活発な遊びをする機会をもつと同時に、静か
にあそぶ機会をもちます。いいかえると、幼稚園は幼児にそのよ
うな機会を絶えず与えているのです。

また、K・H・リードは著書「幼稚園」の中で、「幼稚園とは、
幼児に、その年齢水準として、成長に必要であると考えられる経
験を与えてやることにより、幼児の要求にこたえてやるどころ」
(フレール館発行・四四頁)と定義しています。このような環
境の中で幼児は遊びを選択し、経験し、成長していきます。

そこで「比較的外的圧力が加わらない状態においては、それ
ぞれの年齢の幼児はどのような遊びをどの位しているのであらう
か」を明らかにしようとした。本研究では、幼児の保育時間

内での活動を一か月ごとに観察記録し、それを基にして分析する
方法をとりました。

観察および記録方法

東京都内、〇幼稚園、三歳・四歳・五歳児各一クラスの園児八
三名を対象としました。なお、各年齢のクラス人数は第1表に示
す通りです。

観察期間は、夏休みの八月を除く昭和
四十一年六月から十一月の五か月間、毎
月一回とし、五回行ないました。

観察日および時間は、特別な行事のな
い、全日保育の、戸外遊びのできる日を
選び、登園時から降園時の四時間半と

高 橋 光 子
鈴 木 淳 子
奥 村 喜 美 子

第1表

年齢	人数	
	男	女
3歳	7	7
4歳	17	17
5歳	17	18

第2表 幼児の活動の記録例〔6月・4歳児の一部〕

名前	時間	9.00～ 9.30	9.30～ 10.00	10.00～ 10.30	10.30～ 11.00	11.00～ 11.30	12.00～ 12.30	12.30～ 1.00
M 夫		組み木をし ている	組み木をし ている	組み木をし ている	廊下を走っ ている	砂場で川を 作る	砂場で池を 作る	砂場で池を 作る
H 夫		外を走って いる	外を走って いる	外を走って いる	外を走って いる	外を走って いる	外を走って いる	外を走って いる
H 子		廊下を走っ ている	廊下を走っ ている	廊下を走っ ている	廊下を走っ ている	廊下を走っ ている	廊下を走っ ている	廊下を走っ ている
M 子		ピアノをひ く	ピアノをひ く	ピアノをひ く	ピアノをひ く	ピアノをひ く	ピアノをひ く	ピアノをひ く
		箱で何かを 作る	箱で何かを 作る	箱で何かを 作る	箱で何かを 作る	箱で何かを 作る	箱で何かを 作る	箱で何かを 作る
		砂場で掘る	砂場で掘る	砂場で掘る	砂場で掘る	砂場で掘る	砂場で掘る	砂場で掘る

し、昼食三〇分間は除きました。

観察記録は、鈴木、高橋、奥村がクラスずつ担当し、同日に行ないました。記録方法は、三〇分一単位とし、全対象児の活動を第2表のように記しました。なお一単位中に一クラス全園児個々の活動を観察記録するため観察した時点での活動をその幼児の単位活動としました。

遊びの分類

第2表のように観察された幼児の活動の資料を基にして、次の十項目にグループ分けをしました。

- ① 積み木、箱積み木遊び、ベアブロック、組み木遊び
 - ② 砂遊び、泥遊び、水遊び
 - ③ ごっこ遊び
- ままごと遊び、怪獣ごっこ、兵隊ごっこ、お医者ごっこ、

買物ごっこ

④ 固定遊具遊び

ブランコ、滑り台、鉄棒、つり輪、太鼓橋、ジャングルジム、網ばしご、マット、トランポリン遊び

- ⑤ おにごっこ、かけっこ、なわとび、まりつき、ボール投げ、ゲーム遊び

⑥ 製作遊び、絵を描く、製作物を中心とした遊び

⑦ 絵本を見る、絵を見る

- ⑧ 楽器遊び、歌を歌う、リズム遊び、レコードをかける、音楽を聞く

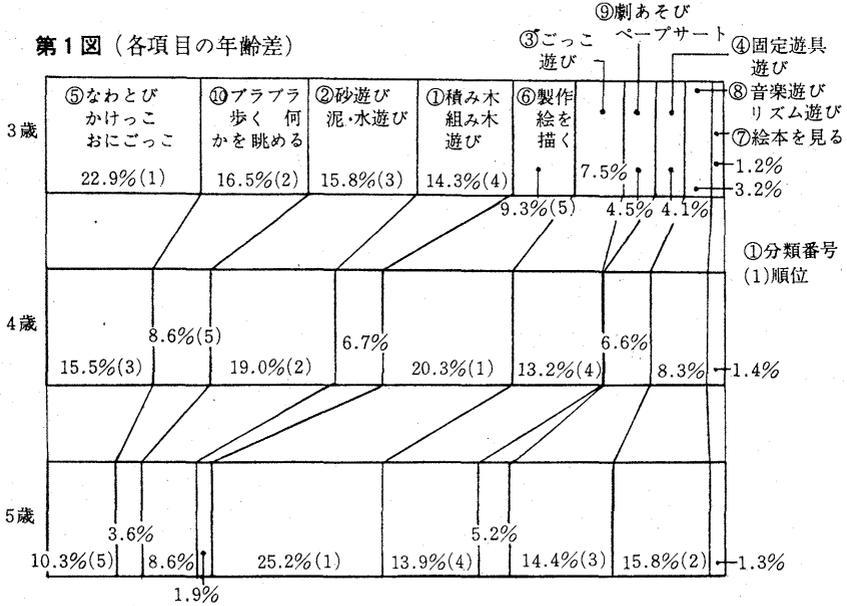
⑨ 指人形、ペープサート遊び、劇遊び

⑩ プラブラ歩く、何かを眺める、すわって話をするなど

遊びを便宜上一〇項目に分けましたが、一項目以上の要素が含まれ絡み合っている遊びも多いことを考慮する必要があります。たとえば、積み木で家を作り、そこでままごとなどのごっこ遊びが展開されている場合で、観察した時点が積み木を持ち運んだり、重ねたりしているのであれば①の項目に入れ、ごっこ遊びが繰り返されているのであれば③の項目に組み入れました。

また、ラケットやバットを腰に差したり、背負って走っている場面では、⑤の項目に入れますが、明らかに兵隊ごっこ、戦争ご

第1図 (各項目の年齢差)



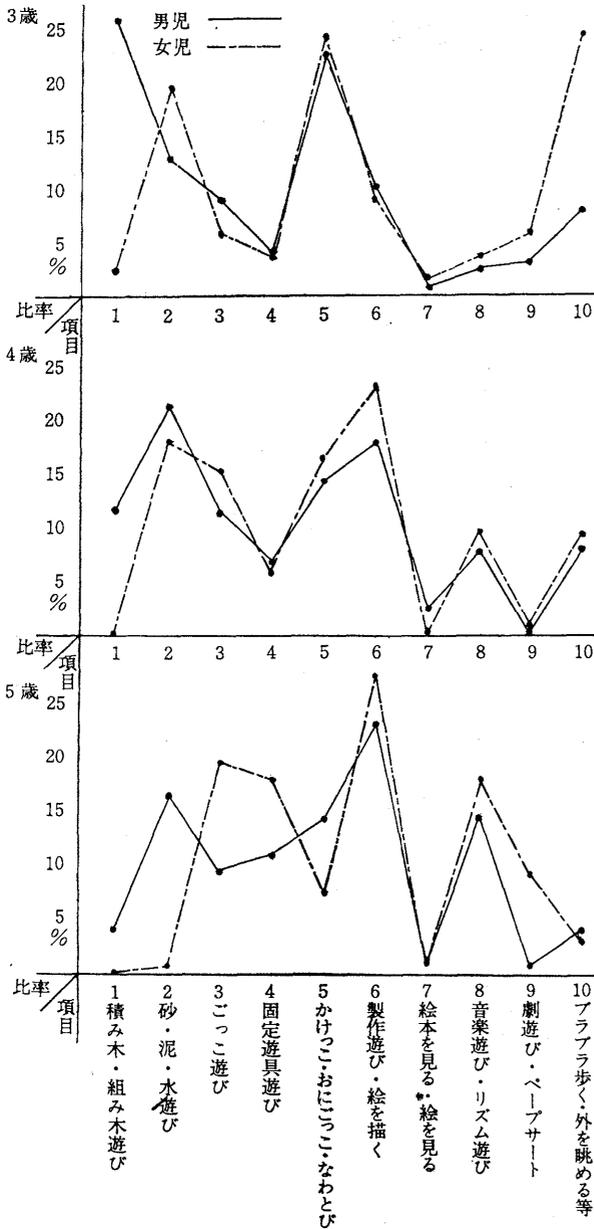
結果

つこなど、が展開されている場合には、③の項目に組み入れまし
た。
項目別に幼児個々の遊びを分類・整理した結果を、研究目的、
「比較的外的圧力の加わらない状態において、それぞれの年齢の
幼児はどのような遊びをどの位しているであろうか」に沿っ
て、(1)年齢差 (2)性差 (3)個人差の三つの観点から検討しまし
た。

(1) 年齢差

第1図は、それぞれの年齢における全遊び時間中(単位時間)
の各項目時間の比率を示したものです。なお、三歳児の多く行な
っている活動を中心としました。これによると、年齢が高くなる
につれ増加傾向が見られるものは、
⑧ 音楽を聞く、楽器遊び、リズム遊び
⑥ 製作遊び、絵を描く、製作物中心の遊び
④ 固定遊具を中心とした遊び
③ ごっこ遊び
でありました。逆に、減少傾向が見られるものは、
① 積み木、箱積み木遊び、ブロック遊び

第2図 (各年齢の男児・女児の遊びの傾向)



⑩ プラプラと歩く、何かを眺めるなど
 ⑤ おにごっこ、かけっこ、なわとびなど
 ⑥ ①はその傾向が著しく、⑥は(三歳)九・三%
 (四歳)二〇・三%(五歳)二五・二%で五歳は三歳の二・七倍
 の増加を示しています。①は(三歳)一四・三%(四歳)六・七
 %(五歳)一・九%と逆に一三%の減少を示しました。また、②

砂遊び、泥遊び、水遊びの項は三、四歳に多く五歳で減少してい
 ますが、特に四歳において非常な伸びを示しました。
 なお、各年齢で高い比率を含めるものは、
 三歳……⑤、⑩、② 四歳……⑥、②、⑤ 五歳……⑥、⑧、
 ④の項目で各々三項目の合計がその年齢の全活動の五五%前後に
 なることが認められました。

一〇項目のうち、⑦絵本を見る、絵を見る項目は各年齢共一・二%〜一・四%で少なく、その年齢差は見られませんが、残りの九項目は以上のように著しい年齢的増減が見られました。

(2) 性 差

各年齢の男児と女児の遊びの傾向は第2図に示す通りです。年齢が高くなるにつれ、性差が現われる遊びが多くなるのがわかります。三歳児では①(男児二五・七% 女児二・九%)と⑩(女児二四・四% 男児八・六%)の項目に著しい性差が見られますが、他の項目については性差はほとんど認められませんでした。

四歳児では①(男児二・四% 女児〇・七%)と⑥(女児二三・三% 男児一七・六%)の性差が他の項目に比べ大きく、五歳児では②(男児一六・二% 女児〇・九%)⑨(女児四・〇% 男児一・二%)①(男児四・〇% 女児〇・〇%)の性差が認められました。ところで、②、③、⑨項を除いた項目全部が男女共に同じ増減傾向を示しています。たとえば男児に増加傾向が見られる項目では女児も同一傾向が見られ(④、⑥、⑧)逆に男児に減少傾向が見られる項目では女児にも同一傾向が見られました。

(①、⑤、⑩)

②、③、⑨では男児がほぼ一定の比率を示しているのに対し、女児は②で著しい減少傾向を、③、⑨では増加傾向を示していま

す。ここから女児の遊びの傾向が男児に比べ年齢的に変化し易いと思われる。以上の傾向は第3表に示した、各年齢男女別の傾向(三位まで)でも明らかです。

(3) 個人 差

項目ごとに、五回の観察記録を基に全日出席した幼児の間で個人差があるかどうかを調べました。なお、個人差を求めるにあたって、各年齢の最高平均一二単位(三〇分一単位として)であるため、七五%の九単位以上の頻度と、二五%の二単位以下の頻度を基にしました。

これによると、三歳では①と⑩に、四歳では②、③と⑤に、五歳では②、③と④に個人差が見られました。しかし、個人差は全幼児の活動を総合的に調べ、一方個人の活動を詳細に見なければならぬと思います。

ここでは、各年齢一例について見たいと思います。

例一、三歳児クラス

①積み木、箱積み木遊び、ブロック、組み木遊び

五回の合計遊び時間は三二単位(九六〇分)ですが、この中一単位(三四・四%)を積み木遊びなどで過ごしている幼児が二

第3表 (各年齢男女の傾向)

3 歳	男	①25.7%	⑤21.9%	②13.3%
	女	⑩24.4%	⑤23.9%	②18.2%
4 歳	男	②20.9%	⑥17.6%	⑤13.7%
	女	⑥23.3%	⑤17.6%	②17.0%
5 歳	男	⑥23.0%	②16.2%	⑤13.8%
	女	⑥27.2%	③18.0%	④17.8%

人、八単位（二五・〇％）が二人いるのに対し、全然やらない幼児一人、一単位（三・一％）が三人でした。

例二、四歳児クラス

② 砂遊び、泥遊び、水遊び

四歳の合計遊び時間は三一単位（九三〇分）でした。K子は一三単位（四一・九％）もの時間を砂遊びや泥・水遊びで過ごしていました。K子の他にも女兒で三人、男児で二人が九単位以上であり、これに対し、男児に二人、女兒に二人、二単位（六・五％）以下でありました。K子のように一項目に一〇単位以上もある幼児は、一日のうち四〜六単位（二時間〜三時間）もその遊びを続けていることとなります。

例三、五歳児クラス

③ ごっこ遊び

五歳児の合計遊び時間は二十八単位（八四〇分）でした。九単位（三二・一％）以上ごっこ遊びで過ごしている幼児が四人で、この中で最高はS子の一二単位（四二・九％）でした。S子の五回の記録を見るとそれぞれ二、一、五、三、一単位ずつ毎日していました。一日三十分以上はしていることとなります。二単位以下では男児二名、女兒四名で、全然やらない幼児はいませんでした。

（お茶の水女子大学）

倉橋惣三選集第四巻 発売中

定価 700 円 フレーベル館発行

内 容

- ☆ 保 育 案
 - ☆ 短 言……子どものための人形窓 ・ この秋 他
 - ☆ 戦中小篇……保姆諸君と語る
(1)健康 (2)服装 (3)熱意
・ おもちゃ大学 他
 - ☆ 戦後小篇……小問答「とんでもない」
・ 保育の味 他
 - ☆ 論 説……彼らもまた美を求む
・ 幼稚園の新使命 他
 - ☆ 実 際 篇……系統的保育案解説
・ 幼稚園でしていること 他
 - ☆ 初期の著作……新しき心 他
 - ☆ 作詞・書簡・揮毫
 - ☆ あとがき
- 第一、二、三巻（各七〇〇円）も増刷発売中